

介護現場をよくする21のテーマ！

ACGs2023



- 第1回：プレ講座
選ばれる法人・サービスをつくるために
年間400回超の研修・コンサルティングの現場から

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

ご受講にあたって

■第1部 14:00～15:30

zoomセミナー（参加者の**お名前やお顔は出ません**）

ご意見/ご感想/ご質問（チャット）に対し**リアルタイム**に回答

※「**すべてのパネリスト**」宛にチャットをお願いします

■第2部 15:30～16:00

希望者による口頭でのご質問・ご相談

参加者の**お名前やお顔は出ます**（ビデオOFFは可能）

■セミナー後、「**資料**」と「**動画**」を送付します

※**法人内のみ**のご活用にとどめて下さい

■これまでのセミナー動画+資料は**一般販売**も行っています

講師プロフィール

昭和52年、愛知県生まれ 介護福祉士、介護支援専門員

京都大学経済学部卒業後、平成12年、特別養護老人ホームに介護職として勤務
社会福祉法人、医療法人にて、生活相談員、グループホーム、居宅ケアマネジャー、
有料老人ホーム、小規模多機能等の管理者、新規開設、法人本部の仕事に携わる
15年間の現場経験を経て、平成27年4月「介護現場をよくする研究・活動」を目的として独立



著書、雑誌連載多数。講演、コンサルティングは年間300回を超える

4児の父、趣味はクラシック音楽

ブログ、facebookはほぼ毎日更新中、日刊・週刊のメールマガジンを配信

Zoomセミナー、動画講座、YouTubeでも配信中、13年目になる「介護の読書会」主催

天晴れ介護サービス総合教育研究所 <https://www.appare-kaigo.com/> 「天晴れ介護」で検索

- HMS介護事業コンサルタント ■C-MAS介護事業経営研究会スペシャリスト
- 全国有料老人ホーム協会 研修委員 ■日本福祉大学 社会福祉総合研修センター 兼任講師
- 稲沢市介護保険事業計画策定委員会、地域包括支援センター運営協議会、地域密着型サービス運営委員会委員
- 出版実績：日総研出版、中央法規出版、ナツメ社、メディカ出版、その他多数
- 平成20年第21回GEヘルスケア・エッセイ大賞にてアーリー・ヘルス賞を受賞
- 榊原宏昌メールアドレス sakakibara1024@gmail.com

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

3

介護現場をよくする研究・活動



➢facebook、ブログ等を毎日更新、情報発信

➢天晴れ介護サービス総合教育研究所YouTubeチャンネル 週1～2回動画配信

➢メルマガ（日刊：介護の名言、週刊：介護現場をよくする研究&活動通信）

➢以上の情報はHP（「天晴れ介護」で検索）よりどうぞ

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

4

介護現場をよくする研究・活動

■よい介護職はいても、よい介護現場はなかなかない……

- ・ 1人1人がよくなるだけでは、うまくいかない
- ・ チーム、組織、目標、計画、ルール
リーダーシップ、コミュニケーションなどが必要
- ・ 「介護現場」をよくすることで
利用者はもちろん、職員も幸せになれる！
- ・ 人と人とお互いに学び合い
気持ちよく支え合える社会づくり

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

5

天晴れ介護サービス「ACGs」！

APPARE CARE SERVICE GOALS 2023

天晴れ介護サービス
介護現場をよくする21のテーマ

個別ケア	1 健康管理 	2 ADLの自立 重度化予防 	3 IADLの 支援 	4 認知症 症状の緩和 進行予防 	5 社会交流 意欲・楽しみ 	6 介護者支援 	7 対人 援助職の 基本姿勢
事業所運営	8 環境整備 	9 接遇・マナー 	10 生活の 安定・安全 	11 喜び 楽しみ 	12 家族・地域 	13 事業所の 維持 	14 チーム
法人経営	15 行政対応 地域分析 	16 事業 サービス 	17 収支 	18 人事・組織 	19 法令遵守 リスク マネジメント 	20 指導 育成 管理 	21 事業計画 目標達成

Colored by bridge link plus

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

6

著書・雑誌連載



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

7

本日の内容

介護現場をよくする21のテーマ! ACGs2023

～選ばれる法人・サービスをつくるために

年間400回超の研修・コンサルティングの現場から～

- ・ 介護現場をよくするとは？
- ・ 事業経営の領域とは？
- ・ 介護現場と事業経営をつなげるために
- ・ 法人が生き残るために何が必要か？
- ・ 理念、事業計画の必要性
- ・ デザインの重要性

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

8

「よい介護現場」とは？

対人援助職の基本姿勢

1. 相手の幸せにつながっているか？相手の立場に立って常に点検する
2. 相手のせいにならない
3. 普通の生活、一般の生活常識をベースとして、一人ひとりの生活習慣を大事にする人と人として関わる

介護現場の管理運営 6領域

1. 環境
2. 接遇
3. 生活の安定・安全
4. 喜び・楽しみ
5. 家族・地域
6. 事業所の維持

※以上をチーム力で（共通目標・役割分担・相互協力）で実現

利用者のケア（ニーズ6領域）

1. 健康管理
2. ADLの自立・重度化予防
3. IADL管理・家事・生活支援
4. 認知症症状の緩和・進行予防
5. 社会交流・意欲・楽しみ
6. 介護者支援

※以上をケアプランに位置付け、実施
ケアマネジメントサイクルでPDCA

これらを実現している、または実現しようと努力している介護現場を「よい介護現場」と考えます

9

介護現場の管理

業務領域	業務項目
環境面	5S、安全性、生活感、自立支援 など
接遇面	挨拶、言葉遣い、身なり、表情・態度 など
生活の安定・安全	食事、入浴、排泄、健康管理、リスクマネジメント など
楽しみ・喜び	趣味、役割、交流、個別ケア など
家族・地域	家族との情報共有・連携、地域交流・連携 など
事業所維持	法令遵守、稼働、災害対策、人材の定着 など
チームワーク	情報共有、面談、会議 など
その他	

利用者へのケア項目

	ニーズ領域	具体的内容
1	健康管理	疾病の管理・症状緩和、看護処置・体力全般の課題 口腔ケア、食事の摂取状況 排泄の頻度や便秘の有無、入浴の頻度
2	ADLの自立・重度化予防	移乗・移動動作 食事の動作・排泄の動作、着脱衣・入浴の動作
3	IADL支援	食事に関する行為、電話・金銭管理 掃除・整理・洗濯、火気の管理・戸締まり 冷暖房の調節・ゴミ出し
4	認知症症状の緩和・進行予防	中核症状の確認 コミュニケーション能力 BPSD（精神症状・行動障害）
5	社会交流・意欲・楽しみ	近所付き合い・友人、なじみの喫茶店・美容院 スーパーマーケット 趣味活動、家庭内や地域での役割
6	介護者支援	介護者の1日のスケジュール、時間帯・動作別介護負担 ストレス軽減、介護者への介護技術指導 介護者の理解、独居・高齢者世帯・日中独居
	その他	

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

11

「よい介護現場」を支える 「よい経営」とは？

事業経営の6領域

1. 行政対応・地域分析
2. 事業・サービス
3. 収支
4. 人事・組織
5. コンプライアンス
6. リスクマネジメント

収益を上げる取り組み

1. 国の方向性・対象地域の分析
2. マーケティング・競合の分析
3. 自事業の現状・収益性の分析
4. 計画的な営業活動とその管理
5. 目標設定・データ管理

組織を強くする取り組み

1. 理念・方針
2. 各種マニュアルの作成と運用
3. 人事制度・キャリアパス・研修計画
4. 人事評価、面談、メンタルヘルス
5. 採用における広報戦略

これらの課題について、継続的に調査・分析・立案・実施・改善
していくことができる人材、組織を確立する

12

事業経営の領域

領域	具体的内容
1 行政対応・地域分析	国の方向性、各種計画の確認、人口動態、他法人の動向、行政への提案
2 事業・サービス	既存事業の改善、強み・弱みの把握、新規事業
3 収支	稼働率、営業、各種経営分析と改善計画・実施
4 人事・組織	人材採用・育成・定着、人事考課、人事異動 組織・内部体制、キャリアパス
5 コンプライアンス	介護保険法令、個人情報保護、働き方改革等
6 リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害リスク ・サービス関連リスク（介護事故、感染症、虐待、個人情報・機密情報漏洩、報酬返還・指定取消、労務リスク（過労死・サービス残業・ハラスメント・メンタル不調等）、利用者、家族からのハラスメントなど） ・経営的リスク（人材不足、稼働率減、売上減、横領など）
その他	

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

13

天晴れ介護サービス「ACGs」！

APPARE CARE SERVICE GOALS 2023

天晴れ介護サービス
介護現場をよくする21のテーマ

個別ケア	1 健康管理	2 ADLの自立 重度化予防	3 IADLの 支援	4 認知症 症状の緩和 進行予防	5 社会交流 意欲・楽しみ	6 介護者支援	7 対人 援助職の 基本姿勢		
	事業所運営	8 環境整備	9 接遇・マナー	10 生活の 安定・安全	11 喜び 楽しみ	12 家族・地域	13 事業所の 維持	14 チーム	
		法人経営	15 行政対応 地域分析	16 事業 サービス	17 収支	18 人事・組織	19 法令遵守 リスク マネジメント	20 指導 育成 管理	21 事業計画 目標達成

Colored by bridge link plus

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

14

ある訪問看護STの使命と将来像（案）

■使命（ミッション）：創業の精神、経営者の問題意識から出てくる
ふれあう人、みんなの幸せを願って
安心、憩い、笑顔、希望、成長、未来を守るお手伝いをします

■将来像（ビジョン）：使命が達成された姿

- ・この価値を広める
- ・お子さんからお年寄りまで、そしてそのご家族（〇〇、〇〇、〇〇）
- ・働く人とその家族（〇〇、〇〇、〇〇）
- ・そのためには一定の規模が必要になる
- ・〇〇地区、〇人の方に対してサービスを提供、職員は〇人
- ・売上〇〇（1人あたり訪問件数〇）、利益〇〇

■考え方と行動の指針（バリュー）：職員と一緒に考えてもよい

■強みは何か？（差別化要因）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

15

生き残るために何が必要か？

人に好かれる法人になる

利用者・家族に好かれる
（必要とされる、選ばれる）

職員に好かれる（選ばれる）

以上を永続的に可能とするための
計画と実施

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

16

ブランディング、マーケティングそして、マネジメント

■ブランディング

- ・安心、信頼、他と比べられない、高くても買う
- ・ルーツ、ヒストリー、ポリシー
- ・特徴、強み、ウリ（ブランディングは「徹底」から生まれる）

■マーケティング

- ・3C分析：Customer（市場・顧客）Competitor（競合）Company（自社）
- ・広報活動

■マネジメント

- ・PDCA
- ・職員への周知徹底とケア

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

17

SWOT分析

SWOT分析とは

外部環境・内部環境を同時に分析し、組織の現状を網羅的に分析する手法

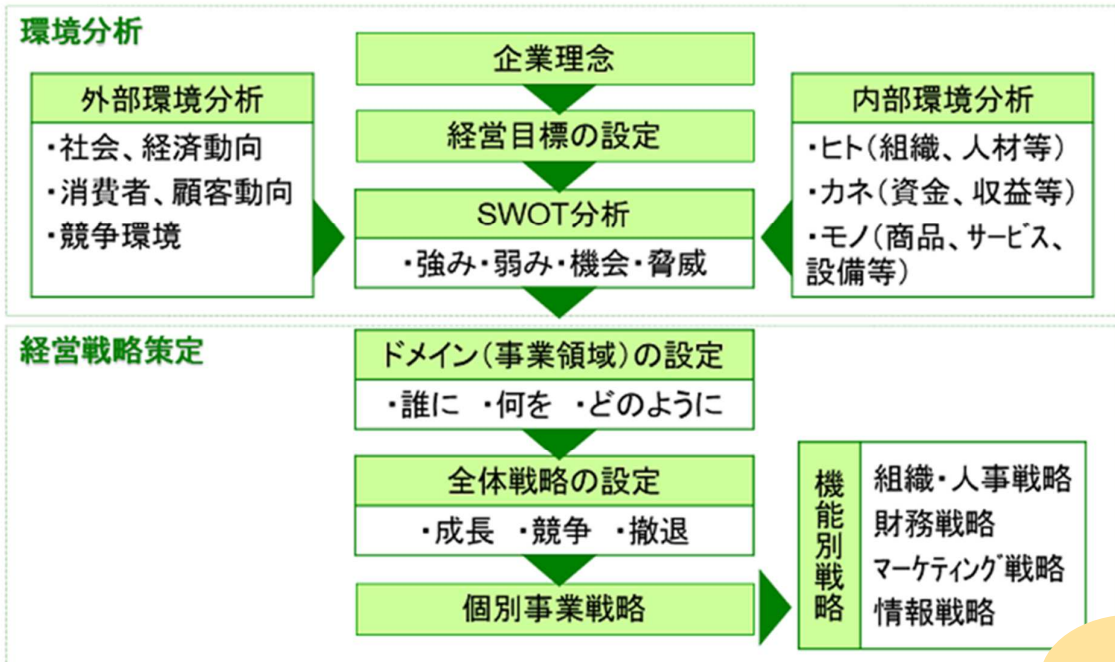
	プラス要因	マイナス要因
内部環境	強み(Strength) 長所→組織の良いところ、自慢できるところ、更に強化していきたいところ	弱み(Weakness) 短所→組織の悪いところ、自慢できないところ、課題となっているところ
外部環境	機会(Opportunity) 追い風→チャンス、好機、良い機会	脅威(Threat) 逆風→ダメージになると思われる、悪い機会

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

18

SWOT分析の位置づけ

最終的には、法人レベル、拠点レベル、事業所レベルでの計画に落とし込む



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

介護保険制度の見直しに関する意見（概要）① (令和4年12月20日 社会保障審議会介護保険部会)

- 全世代対応型の持続可能な社会保障制度の構築に向けて、質の高い医療・介護を効率的に提供するための基盤整備が必要。
- 次期計画期間中に2025年を迎えるが、今後、85歳以上人口の割合が上昇し、サービス需要や給付費は増加する一方、生産年齢人口は急減。地域ニーズに対応したサービス等基盤の整備や、人材確保、保険制度の持続可能性の確保に向けた早急な対応が必要。
- 社会環境の変化の中でも、高齢者の自己決定に基づき、必要なサービスを受けられ、希望する所で安心して生活できる社会を実現する必要。

I 地域包括ケアシステムの深化・推進

1. 生活を支える介護サービス等の基盤の整備

- 地域の実情に応じた介護サービスの基盤整備**
 - ・長期的な介護ニーズの見通しや必要な介護職員数を踏まえ計画を策定。その際、既存施設・事業所の今後のあり方も含め検討
- 在宅サービスの基盤整備**
 - ・複数の在宅サービス（訪問や通所など）を組み合わせて提供する複合型サービスの類型の新設を検討
 - ・看護小規模多機能型居宅介護のサービスの明確化など、看護小規模多機能型居宅介護等の更なる普及方策について検討
- ケアマネジメントの質の向上**
 - ・質の向上・人材確保の観点から第9期を通じて包括的な方策を検討
 - ・適切なケアマネジメント手法の更なる普及・定着
 - ・ケアプラン情報の利活用を通じた質の向上
 - ・質の高い主任ケアマネジャーを養成する環境の整備、業務効率化等の取組も含めた働く環境の改善
- 医療・介護連携等**
 - ・医療計画と介護保険事業（支援）計画との整合性の確保
 - ・地域リハビリテーション支援体制の構築の推進
 - ・かかりつけ医機能の検討状況を踏まえ、必要な対応
- 施設サービス等の基盤整備**
 - ・特養における特例入所の運用実態を把握の上、改めて、その趣旨の明確化を図るなど、地域の実情を踏まえ適切に運用
- 住まいと生活の一体的支援**
 - ・モデル事業の結果等を踏まえ、住宅分野や福祉分野等の施策との連携や役割分担のあり方も含め引き続き検討
- 介護情報利活用の推進**
 - ・自治体・利用者・介護事業者・医療機関等が、介護情報等を電子的に閲覧できる情報基盤を整備するため、介護情報等の収集・提供等に係る事業を地域支援事業に位置づける方向で、自治体等の関係者の意見も十分に踏まえながら検討
- 科学的介護の推進**
 - ・LIFEのフィードバックの改善や収集項目の精査を検討

2. 様々な生活上の困難を支え合う地域共生社会の実現

- 総合事業の多様なサービスの在り方**
 - ・実施状況・効果等について検証を実施
 - ・第9期を通じて充実化のための包括的な方策を検討。その際、地域の受け皿整備のため、生活支援体制整備事業を一層促進。また、多様なサービスをケアプラン作成時に適切に選択できる仕組みの検討
- 通いの場、一般介護予防事業**
 - ・多様な機能を有する場として発展させるため、各地域の状況や課題毎に活用・参照しやすいよう情報提供。専門職の関与を推進
- 認知症施策の推進**
 - ・認知症施策推進大綱の中間評価を踏まえた施策の推進
- 地域包括支援センターの体制整備等**
 - ・家族介護者支援等の充実に向け、センターの総合相談支援機能の活用、センター以外の各種取組との連携
 - ・センターの業務負担軽減のため、
 - 介護予防支援の指定対象を居宅介護支援事業所に拡大
 - 総合相談支援業務におけるプランチ等の活用推進。市町村からの業務の部分委託を可能とする等の見直し
 - 3職種配置は原則としつつ、職員配置の柔軟化

3. 保険者機能の強化

- 保険者機能強化推進交付金等**
 - ・評価指標の見直し・縮減とアウトカムに関する指標の充実
- 給付適正化・地域差分**
 - ・給付適正化主要5事業の取組の重点化・内容の充実・見える化
- 要介護認定**
 - ・より多くの保険者が審査の簡素化に取り組むよう、簡素化事例の収集・周知。今後、ICTやAIの活用に向けて検討
 - ・コロナの感染状況を踏まえ、ICTを活用して認定審査会を実施できるとする取扱いについて、コロナの感染状況を問わず継続

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

介護保険制度の見直しに関する意見（概要）②
（令和4年12月20日 社会保障審議会介護保険部会）

II 介護現場の生産性向上の推進、制度の持続可能性の確保

1. 介護人材の確保、介護現場の生産性向上の推進

- （1）総合的な介護人材確保対策
 - ・処遇の改善、人材育成への支援、職場環境の改善による離職防止、介護職の魅力向上、外国人材の受入れ環境整備など総合的に実施
 - ・介護福祉士のキャリアアップや処遇につながる仕組みの検討
 - ・外国人介護人材の介護福祉士資格取得支援等の推進
- （2）生産性の向上により、負担が軽減され働きやすい介護現場の実現
 - 地域における生産性向上の推進体制の整備
 - ・生産性向上等につながる取組を行う介護事業者へ認証を付与する取組により、優良事例を横展開
 - ・都道府県主導のもと、様々な支援・施策を一括して取り扱い、適切な支援につながるワンストップ窓口の設置など総合的な事業者支援
 - ・地方公共団体の役割を法令上明確化
 - 施設や在宅におけるテクノロジー（介護ロボット・ICT等）の活用
 - ・相談窓口を通じた体験展示、研修会、個別相談対応等の推進
 - ・施設における介護ロボットのパッケージ導入モデル等の活用推進
 - ・在宅におけるテクノロジー活用に向けた課題等に係る調査研究
 - 介護現場のタスクシェア・タスクシフティング
 - ・いわゆる介護助手について、業務の切り分け、制度上の位置付け等の検討。人材の確保については、特定の年齢層に限らず柔軟に対応
 - 経営の大規模化・協働化等
 - ・社会福祉連携推進法人の活用促進も含め、好事例の更なる横展開
 - ・「デジタル原則に照らした規制の一括見直しプラン」も踏まえ、各サービスにおける管理者等の常駐等について、必要な検討
 - 文書負担の軽減
 - ・標準様式や「電子申請・届出システム」の基本原則化について所要の法令上の措置を遅滞なく実施
 - 財務状況等の見える化
 - ・介護サービス事業所の経営情報を詳細に把握・分析できるよう、事業者が都道府県知事に届け出る経営情報について、厚生労働大臣がデータベースを整備し公表
 - ・介護サービス情報公表制度について、事業者の財務状況を公表。併せて、一人当たりの賃金等についても公表の対象への追加を検討

2. 給付と負担

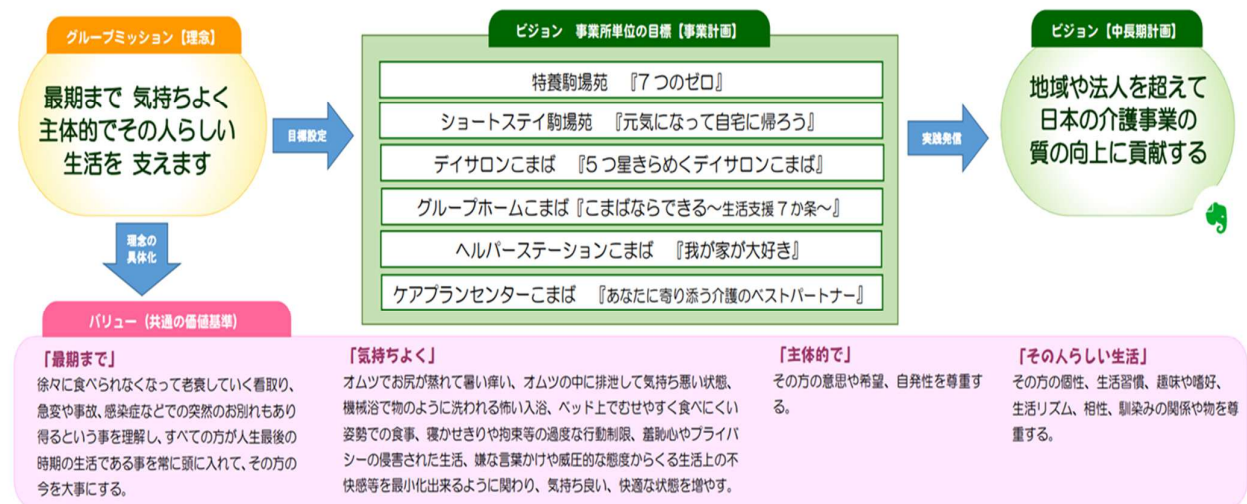
- （1）高齢者の負担能力に応じた負担の見直し
 - 1号保険料負担の在り方
 - ・国の定める標準段階の多段階化、高所得者の標準乗率の引上げ、低所得者の標準乗率の引下げ等について検討を行い、具体的な段階数、乗率、公費と保険料多段階化の役割分担等について、次期計画に向けた保険者の準備期間等を確保するため、早急に結論を得る
 - 「現役並み所得」、「一定以上所得」の判断基準
 - ・利用者負担が2割となる「一定以上所得」の判断基準の見直しについて、後期高齢者医療制度との関係や介護サービスは長期間利用されること等を踏まえつつ、高齢者が必要なサービスを受けられるよう、高齢者の生活実態や生活への影響等も把握しながら検討を行い、次期計画に向けて結論を得る
 - 補足給付に関する給付の在り方
 - ・給付の実態やマイナンバー制度を取り巻く状況なども踏まえつつ引き続き検討
 - （※）次期計画に向けて結論を得るとされた事項については、遅くとも来年夏までに結論を得るべく引き続き議論
- （2）制度間の公平性及均衡等を踏まえた給付内容の見直し
 - 多床室の室料負担
 - ・老健施設及び介護医療院について、在宅との負担の公平性、各施設の機能や利用実態等を踏まえつつ、介護給付費分科会において介護報酬の設定等も含めた検討を行い、次期計画に向けて結論を得る
 - ケアマネジメントに関する給付の在り方
 - ・利用者やケアマネジメントに与える影響、他サービスとの均衡等を踏まえ包括的に検討し、第10期計画期間の開始までに結論を得る
 - 軽度者への生活援助サービス等に関する給付の在り方
 - ・現在の総合事業に関する評価・分析等を踏まえ包括的に検討し、第10期計画期間の開始までに結論を得る
- （3）被保険者範囲・受給者範囲
 - ・第2号被保険者の対象年齢を引き下げることにについて、介護保険を取り巻く状況の変化も踏まえつつ、引き続き検討

厚生労働省 社会保障審議会介護保険部会 資料より

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

SWOT分析がゴールではない

総合ケアセンター 駒場苑グループ ビジョン(中長期計画・事業計画) ミッション(理念) バリュー(共通価値基準)

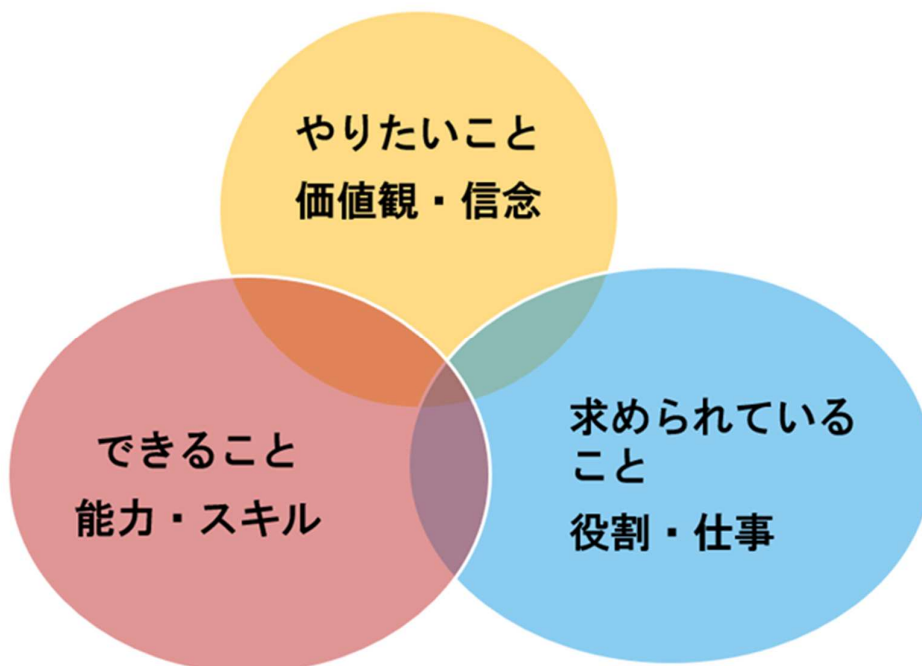


Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

SWOT分析がゴールではない

前向きな思考を持った 様々な才能が集まる採用活動	実践のための 環境作り		事業が継続できる財政
	成長できる環境	働きやすい職場環境	
<ul style="list-style-type: none"> ホームページログの活性化とSNSによる拡散→ホームページログは各事業所の職員が行う事でリアルな情報を発信 SNSでの業界を明るくする前向きな毎日発信（採用活動の事だけでなく、他の事業所に役立つ情報発信し注目を集める事で中長期目標と採用活動の両立）→院長 SNS により実施。職員の SNS 発信等も奨励。 駒場苑チャンネル等 YouTubeを使った事業所の様子が分かる動画の発信。 採用前の体験でのマッチング 	<ul style="list-style-type: none"> 介護百人一首（カレンダー）→駒場苑グループで大事にしたい介護の考え方、理論、技術の周知 ポスター研修→規定研修の最低限のルールの周知と理解度チェック YouTube等、研修動画の充実 研修委員会企画研修 図書コーナー→欲しい介護関係の本をリクエストすれば図書コーナーに設置。読書感想カードで情報シェアで年1回ギフトカード1,000円分支給 個人シートによる定期面談→個人目標の設定と振り返り等 資格取得支援→介護職は介護福祉士、実務者研修、初任者研修は受験費、受講費全額負担。その他の介護関係の資格は研修報告書での情報シェアで処遇改善加算（9・3月）より全額負担 自己啓発支援→介護職はプライベートで研修に参加した場合は、研修報告書で情報をシェアで処遇改善加算（9・3月）より研修費全額支給（無料の場合も3,000円） 他法人の取り組み、情報シェア→介護職が他法人の事業所に見学や体験に行き、その取り組みの情報を研修報告書にて情報シェアで処遇改善加算（9・3月）より1,000円支給 	<ul style="list-style-type: none"> 間接的な業務の役割分担化、効率化→用務員、清掃員、ボランティアさんによるサポート。ICTを使ったパソコン業務、記録の合理化、不要な日課、業務の廃止等。 マッサージチェア一体のメンテナンスやリラクセスに ファイトステーション→栄養ドリンクをコンビニより安く購入できる オフィスグリコ→お菓子や軽食を手軽に購入できる 自動販売機→手軽に飲料を購入し備蓄 漫画コーナー→気分転換に。これらを1階に集める事で人が集まる場へ 全館wifi完備→職員の個人スマホも利用可 駒場苑食堂の職員食のこはん味噌汁おかわり自由化 アンガーマネジメントの浸透→職員間の怒りの感情のコントロール。上司⇄部下、先輩⇄後輩のハラスメント、威圧的な要求、陰湿な要求等の予防、防止 やりたい事をやる日→定期的にフリーの日を支給。その日は日頃の業務以外でやりたい事を企画し、実施して良い日とする 地域との交流、繋がり→地域イベントに参加 BCP計画による災害対策と感染症対策 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所毎の経営目標の設定 「特養ショート駒場苑稼働率96%」 「デイサロンこまば1日平均ご利用者数」 「グループホームこまば稼働率99.5%」 「ケアプランセンターこまば月平均ご利用者数90名」 「ヘルパーステーションこまば月延べ人数1000名」 チャリティ企画→チャリティ介護百人一首カレンダー 発信による営業活動→ホームページログとSNSによる拡散 補助金、新規加算の取得努力 目標実績に合わせた人件費の適正化 2059年度の建物改築工事のための積み立て、また59年まで建物を保つための設備投資を計画的に行える財政状況になっている。

仕事とは？



私の日々の仕事＝〇〇のお仕事

- 書籍、ブログ、SNS等
- 研修（対面、オンライン）
- オンライン研修を収録した動画（300本以上！）

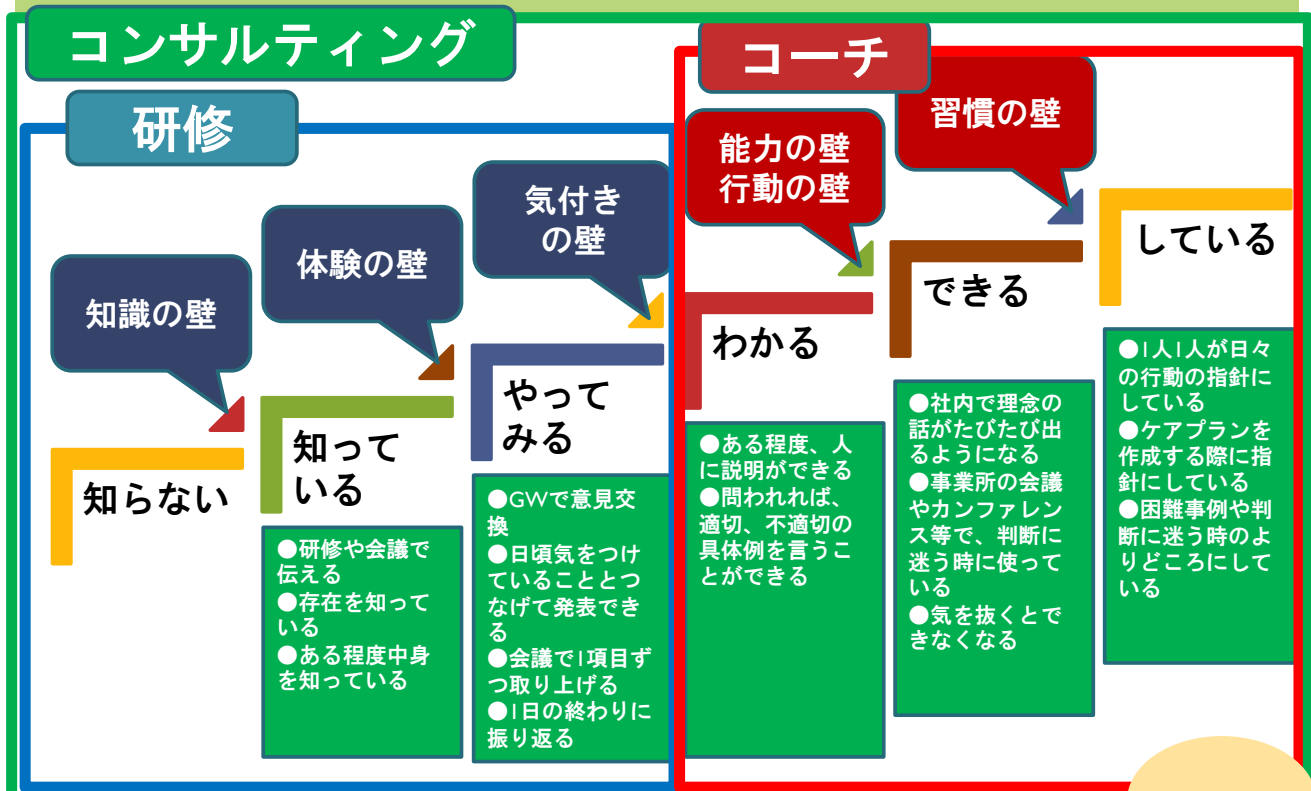
学び★共感★モチベーション！

- Q & A
- グループコンサルティング（オンライン）
- 個別コンサルティング

ケア★事業★マネジメント！

診断★計画★イノベーション！

理念の浸透／研修・コンサルティング



天晴れ介護サービス「ACGs」！

APPARE CARE SERVICE GOALS 2023

天晴れ介護サービス
介護現場をよくする21のテーマ

個別ケア	1 健康管理 	2 ADLの自立 重度化予防 	3 IADLの 支援 	4 認知症 症状の緩和 進行予防 	5 社会交流 意欲・楽しみ 	6 介護者支援 	7 対人 援助職の 基本姿勢 	
	事業所運営	8 環境整備 	9 接遇・マナー 	10 生活の 安定・安全 	11 喜び 楽しみ 	12 家族・地域 	13 事業所の 維持 	14 チーム
	法人経営	15 行政対応 地域分析 	16 事業 サービス 	17 収支 	18 人事・組織 	19 法令遵守 リスク マネジメント 	20 指導 育成 管理 	21 事業計画 目標達成

Colored by bridge link plus

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

27

天晴れ介護サービス「ACGs」！

ACGs
APPARE CARE SERVICE GOALS

ACGs
APPARE CARE SERVICE GOALS

ACGs
APPARE CARE SERVICE GOALS



ACGs
APPARE CARE SERVICE GOALS

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

28

天晴れ介護サービス「ACGs」！

事業所運営			
8・環境整備	GREEN BLUE	自然体でいる	人間関係がスムーズ
	環境を調整するという 自然と平和な環境	平和	受信能力がありコミュニケーションが出来ている状態
9・接遇 マナー	PINK RED	奉仕	人に尽くしていると感じる
	他者に対する良き サービスという点の考え	外向的	現実的にも物事を捉えている
10・生活の安定 安全	BLUE (水色) WHITE	平和	リラックス効果
	生活の基盤安定と 安全という点	家庭的な人が多い	心身共にバランスがとれていて とても良い状態
11・喜び 楽しみ	YELLOW	個人	元気になるたい
	個人でも楽しむ観点	ユーモア	
12・家族 地域	明るいRED	長生きを願う色	人を惹きつけたい
	血縁関係や地域との つながりという点		
13・事務所の維持	GREEN	協調性・安心	周りや社会と調和している
	継続していくことの 重要性と考え		
14・チーム	ORANGE	人とのつながりを	コミュニケーション力が高まる
	多職種連携や繋がり の視点	サポートできる	

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

29

天晴れ介護サービス「ACGs」！

個別ケア			
1・健康管理	RED	生きるパワー	食欲増進
	健康管理には食事 摂取の重要性と解釈		
2・ADLの 自立 重度化防止	ORANGE	自立	心身共に好調
	ADLの自立と重度化 予防の観点		
3・IADLの支援	GREEN	調和	支援して「レベルアップ」
	IADLとADLとの 関係性が必要と考え		
4・認知症 症状の緩和 進行予防	PINK	老化防止	脳の興奮を抑える (身体への影響) 効果
	症状の緩和の視点		
5・社会交流 意欲 楽しみ	YELLOW ORANGE	社交性がある	コミュニケーションが高まる
	交流と意欲・楽しみ の関係性から2色融合	ポジティブ・ 楽しいことが好き	人と交流を深めたい
6・介護者支援	淡いRED	感情の起伏が激しい	前向きなやるきがでている
	介護者の側面、プラスとマイナス の感情が変化しやすい複雑な感情	一面がある	ストレスを常に感じている
7・対人 援助職の 基本姿勢	BLUE	冷静・誠実	冷静な判断力
	基本的な正しい姿勢 と考え		

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

30

天晴れ介護サービス「ACGs」！

法人経営			
15・行政対応	ORANGE YELLOW	人とのつながりをサポート できる・外部からの影響を受けやすい	安定を求める 臨機応変
地域分析	制度と地域性を考え		
16・事業サービス	GREEN 安定的なサービスを 取り組むに意識	安心	バランスがとれて穏やかに すごせている
17・収支	GOLD 収入・お金を イメージ	大きな目標・価値	知性や富を得たいと考えている
18・人事・組織	GREEN (モスグリーン) 人と企業のまとめ 方向性と考え	話しをうまく まとめる	周りや会社と調和している 新しいことにチャレンジしたい
19・法令遵守 リスク マネジメント	RED (えんじ色) 守る事とリスクを 回避する点	行動力と決断力がある	リーダーシップを発揮する (集団の中での色)
20・指導 育成 管理	INDIGO (ネイビー) 尊敬や適切な教育の 視点	本質を見抜く 規則 信頼感がある	先入観を持たず 物事を見極めたい 真実を見抜く
21・事業計画 目標達成	PURPLE 達成するや計画的に 進んでいくことから導き	物事に対する 平等や公平性を 重んじる	プライド (誇り) をもって 進めている

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

31

介護現場をよくするライブラリー



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

32

本日の内容

介護現場をよくする21のテーマ！ACGs2023

～選ばれる法人・サービスをつくるために

年間400回超の研修・コンサルティングの現場から～

- ・ 介護現場をよくするとは？
- ・ 事業経営の領域とは？
- ・ 介護現場と事業経営をつなげるために
- ・ 法人が生き残るために何が必要か？
- ・ 理念、事業計画の必要性
- ・ デザインの重要性

次回5月より

月	内容	月	内容
5月	環境 接遇	11月	介護者支援 対人援助職の基本姿勢
6月	生活の安定・安全 喜び・楽しみ	12月	行政対応・地域分析 事業・サービス
7月	家族・地域 事業所の維持	1月	収支 人事・組織
8月	チームワーク 健康管理	2月	法令遵守・リスクマネジメント 指導・育成・管理
9月	ADLの自立・重度化予防 IADL支援	3月	事業計画・目標達成 まとめ
10月	認知症症状の緩和・進行予防 社会交流・意欲・楽しみ		

継続的な学習の重要性！

■成長のために

- ・ **ギャップ**を埋める & **強み**を活かす
- ・ **時間とエネルギー**をかけた分だけ成長する
- ・ **よい情報を浴び続ける**、そういう**環境**に身を置く
- ・ **成長は螺旋階段**、その時々で**受け取るものも違う**
- ・ **ミラーニューロン効果**（思考・行動に影響、**時間差で効果!**）、**感度**が高まる
- ・ **知れば知るほど分からないこと**が増える、**知りたいこと**が増える
- ・ **学びが理想**をつくり、**理想が学び**を生む

■メンテナンスのために

- ・ いつも良い状態を保てるとは限らない……。
- ・ **定期的に軌道修正**させてくれる、**人・環境の存在**が必要

■自分自身、そしてチームワーク

- ・ **シャンパンタワー**：自分が満ち足りて、人を満たすことができる
- ・ **研修はチームで参加**、普段は話さないことも話す、施設を越えた連携

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

35

継続的な学習の機会を持つために



影響力・インパクト



回数・頻度



習慣化 = インパクト × 回数

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

36

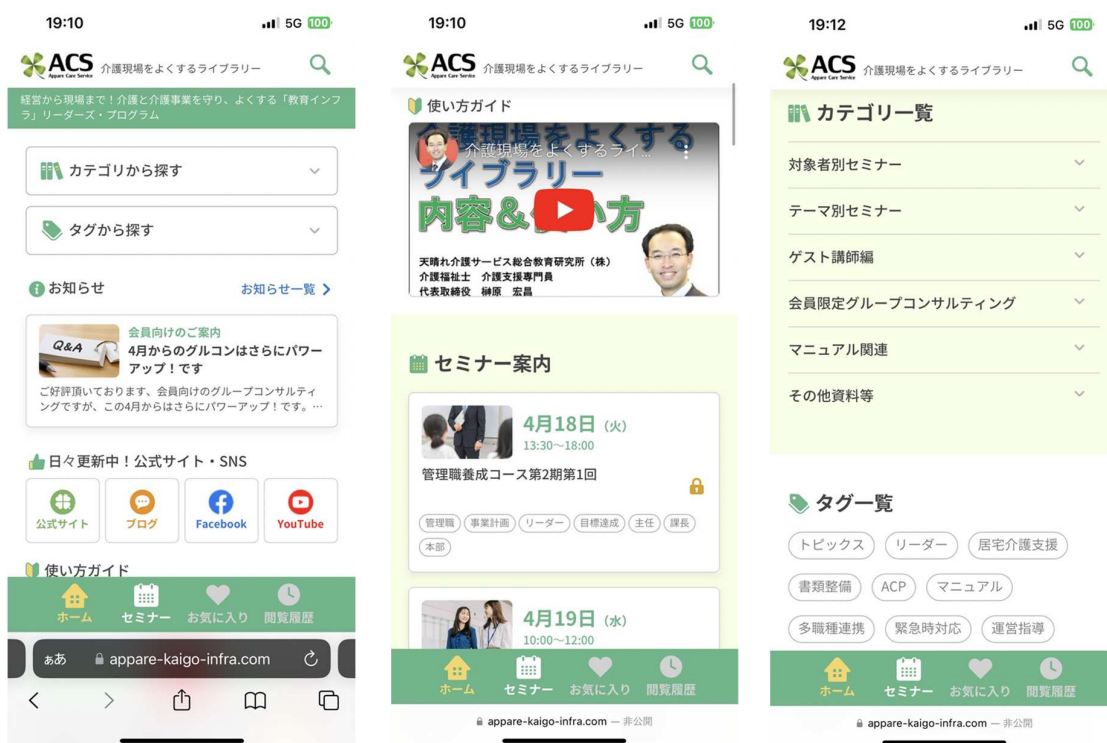
研修・動画の内容

- 経営者・経営幹部向けセミナー（20時間相当 + α ）
- 管理職向けセミナー（20時間相当 + α ）
- ケアマネジャー向けセミナー（10時間相当 + α ）
- 全職員向け法定研修シリーズ（10時間相当 + α ）
- 新人職員向けセミナー（10時間相当）
- 赤本・青本・緑本通読セミナー（20時間相当 + α ）
- 1日集中講座シリーズ！（30時間相当）
（稼働率、人材確保、管理職養成、実地指導、ケアマネジメント等）
- 令和3年度介護報酬改定セミナー（10時間相当）
- リーダー、相談援助職のための説明力向上講座（5時間相当）
- 最新情報&トピックス「マンスリー・ジャーナル」（20時間相当）
- 工藤ゆみさんのコミュニケーション力向上講座（20時間相当）
- 進絵美さんの面談スキル向上講座（5時間相当）
- 吉村NSの看護セミナー（5時間相当）
- ケアマネジャー受験対策セミナー（15時間相当）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

37

介護現場をよくするライブラリー



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

38

週刊メールマガジン 介護現場をよくする研究&活動通信

介護現場をよくする研究&活動 通信 バックナンバー

[バックナンバー一覧へ戻る](#)

日時	タイトル
2020/11/19(木) 09:30	【報酬改定の議論大詰め！ポイント総整理】介護現場をよくする研究&活動 通信 第123号

■ ■ ————— ■ ■ ■

【報酬改定の議論大詰め！ポイント総整理】
介護現場をよくする研究&活動 通信 第123号
<http://www.appare-kaigo.com/>
2020.11.19
天晴れ介護サービス総合教育研究所 榎原宏昌

□ ■ □ ————— □ ■ □

0=====

◆目次◆

1. 今週の活動と気付き
 2. 注目のニュース
 3. セミナー・イベント情報
 4. zoomセミナー情報
 5. 天晴れライブラリー・名言のご紹介
- 編集後記

➤毎週木曜日のメルマガ「介護現場をよくする研究&活動通信」
ホームページより（天晴れ介護、で検索）

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

39

Facebookライブ！／YouTube動画

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

40

LINE公式アカウント始めました！

■対象者

- ・ 介護事業の永続的な成功を目指す経営者・経営幹部の方
- ・ 独立開業や管理職・専門職・講師業等でスキルアップしたい個人の方

※LINE登録特典動画「経営から現場まで！介護事業の永続的な成功を実現する3つの取り組み」を現在制作中（^^）



Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

41

継続的な学習の重要性！

致知 祝・WBC優勝

野球日本代表侍ジャパン監督

栗山英樹

月刊『致知』より



僕たち指導者は
勉強が欠かせない。
選手たちよりも十倍は
勉強しないと
彼らの成長に追いつかないし、
人間的に成長させて
あげることができない

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

42

無料！5日連続メール&動画セミナー

介護現場をよくするzoomセミナー

4月24日（月）
13時、申込開始！

介護と介護事業を守り、よくする！ 「継続的な学習」の重要性と その効果を考える

■継続的な学習がもたらすものとは？

天晴れ介護サービス総合教育研究所 株式会社
代表取締役 榊原 宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

I

43

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

介護現場をよくする経営の考え方と具体策

ご清聴ありがとうございました！



天晴れ介護サービス総合教育研究所

代表 榊原宏昌

Copyright (c) hiromasa sakakibara.All rights reserved.

44